

## 「対岸の火事」でない思考を！

私は時々メ - ルで、事例を上げながらご意見を伺うことがあります。

私がメ - ルで問いかけているのは、問いかけの内容が「対岸の火事」ではなく、周り（社会を含め）のいろんな問題を、自分の「生」きる「活」動（生活）に関連づけて思考すれば、「支え合う」、「係わり合う」、「寄り添う」ということが、もう少し具体的に見えてくるのでないかと、私自身がそう思うからです。

私自身の思考のためには私が気づかない意見等を拝聴し、なお意見交換するための文章作りの作業が、より自分なりのスタンスを確認していくことに有効な過程かなと思っています。もちろん、年齢による人生経験・体験等で、自分の思考の内容が異なることは当然でしょう。それだけに、時々自らの思考を再確認することも必要なことと思います。

「君のメ - ル遊び（？）につき合うのは大変！」との皮肉と共に返信くださる方もいますが、お互いに折角の思考の機会ですので、これからもおつき合ってください。

返信をいただく中で、知らなかった情報もたくさんいただけます。これがまた、たまらなく楽しく、嬉しいです。「知らないことを知る」喜びは、年齢に関係なさそうで、人間の本性かな。

（2003年02月15日記）